35 061 **2**30749 -



日本語読み書き教室学習交流会!」

を行いました。 にぎやかで楽しい時間を過ごしました。 教室も半年が過ぎ、講師の空木旭姫さんが教室 2月-7日(土)、午後2時から学習交流会 サンタナ学園からの参加もあり、

、の想いを綴ってくれましたので掲載します。

問題の意味自体が分からなくて困っていること きてきます。 うになってきているという子もいて、子どもによ 学校ではなかなか一人ひとりに応じた指導を進 が多くありました。このような現状があっても、 度の日本語は話せて、簡単な漢字や文章は読み書 けないという子もいれば、漢字も徐々に書けるよ 語の知識はもっています。 れの日本語力に合わせた学習を行っています。 めていくのは難しいのではないかと思います。 ている際に、少し難しい言葉が出てくると、その って差が大きいのが現状です。 ブラジル学校で日本語を学んでおり、少しの日本 中学生は、地元の中学校に通っていて、 教室に通ってくれている小学生の多くは、普段 そのため、 『隣保館で行っている日本語教室では、それぞ しかし、中学校のワークなどを進め この教室で個別に丁寧に向き合っ しかし、ひらがなが書 ある程

また、私自身も講師として参加することによっ

子どもたちの「日本語がわかる・できる」に 関係性を大切にしながら共に学習するなか